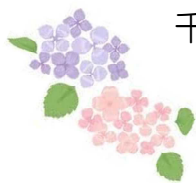


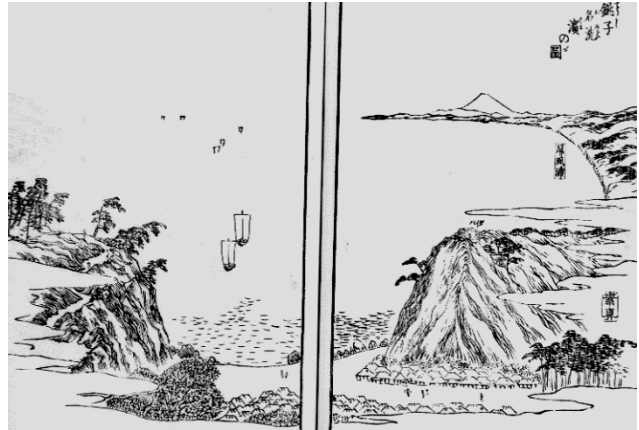
知識は 旅をする



千葉県立東部図書館だより

2018年6月

第62号



『利根川図志 6』赤松宗旦義知著「銚子名洗浜の図」

(「菜の花ライブラリー」千葉県デジタルアーカイブ)

▼文学講座

「漱石と龍之介 房総の旅」

講師:中谷 順子(なかに・じゅんこ)氏

詩人・評論家

日時:6月9日(土)

13:30~15:30 開場13:00

定員:60名(定員になり次第締切)

申込方法:来館・電話・FAX・メールにて

▼菜の花ライブラリー活用講座

千葉県関係資料データベース「菜の花ライブラリー」の使い方や、千葉県資料の調べ方を、パソコンを操作しながらやさしく学べます。

日時:8月開催予定

※詳細は決定次第ホームページでお知らせします。

定員:15名(定員になり次第締切)

申込方法:来館・電話・FAX・メールにて

▼図書館ナビのお知らせ

「図書館ナビ」では毎月第2日曜に「**検索演習**」、第4土曜に「**データベース講座**」を開催しています。また、演習・講座修了後には「**書庫見学会**」を開催いたします。県立図書館の職員が皆様の疑問に答えながら、わかりやすく解説します。

パソコンの使い方がわからない方でも、お気軽にご参加ください。

(平成30年6月~8月の予定)

検索演習6月10日(日)、7月8日(日)、8月12日(日)

データベース講座6月23日(土)、7月28日(土)、8月25日(土)



20th Anniversary

東部図書館は、11月に開館20周年を迎えます。
20周年記念講演会を開催する予定です。
お楽しみに。

各講座のお問合わせ:千葉県立東部図書館

〒289-2521 旭市八の349

TEL:0479-62-7070

FAX:0479-62-7466

メール:elib-kouza@mz.pref.chiba.lg.jp

ホームページ URL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

携帯電話サイト URL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>

携帯電話機の

QRコードリーダーでアクセスできます→

↑PC・スマホ等の方はこちらへ



参考図書カフェ (19)



『広辞苑』 第7版

新村出編 岩波書店 2018

請求記号 [8131/37/18 (参考)]



東部図書館には、多くの参考図書があります。

参考図書は、何か特定の知識・情報について調べるための資料です。辞書や百科事典、便覧、統計書などで、小説のように通読するものではなく、言葉が五十音順に並べられていたり、索引が用意されていたりと、必要な部分を簡単に探し出せるように編集されています。そのため、短時間で簡潔な知識や情報を得るのに便利です。

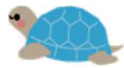
*個人貸出はできません。

今回紹介するのは『広辞苑』 第7版です。

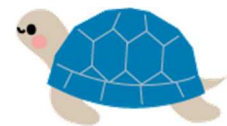
5月25日は広辞苑記念日です。1955（昭和30）年のこの日に、岩波書店から初版が刊行されました。『広辞苑』は1冊で国語辞典と百科事典の役割を果たします。昔とは使い方の変わった言葉、元々の意味や現代の意味も調べることができ、言葉の移り変わりを知ることができます。

今回紹介する第7版は、第6版と比べると約1万語追加され、140ページほど増えています。それでも全体の厚みは約8cmとほぼ変わりません。岩波書店のホームページによると、製本機の限界である8cmに収まるように、さらに薄い紙を開発したそうです。確かに、薄いのに裏の印刷が見えませんか。最先端の技術が使われているんですね。

調べ物にはもちろんですが、ぜひお手に取って紙の薄さも確かめてみてください。



関連図書・雑誌



『広辞苑はなぜ生まれたか 新村出の生きた軌跡』

新村恭(しんむら・やすし)著 世界思想社 2017 請求記号 [2891/717]

『広辞苑』の編者新村出(しんむら・いずる)をご存じですか？ 彼は少年時代、佐原にあった並木栗水(りっすい)が開いた螟蛉(めいれい)塾という漢学塾で、栗本義喬(よししたか)に学びました。また、その頃引率役をしていた中村知常が、名前の「出」から山山で「重山(ちょうざん)」という雅号をつけています。佐原の神社には歌碑も残されており、縁の深い人物です。この本では、孫である著者が彼の生き様に迫っています。

『生物生態画集』

牧野四子吉(まきの・よねきち)画 東方出版 2003 請求記号 [46087/2]

『広辞苑』に挿図を描いていた生物画家、牧野四子吉による生きものの画集です。その精密さに驚きます。『広辞苑』初版出版当時の印刷技術にまつわる裏話も興味深いです。

『図書』2018年1月号・3月号 岩波書店(雑誌) ※個人貸出はできません

『広辞苑』第7版の特集で、色々な方の『広辞苑』にまつわる話を読めます。

調べ方あれこれ



4月から新たに東部図書館で利用できるようになった5つのデータベースをご紹介します。
調べものに、ぜひご活用ください！

②データベースを活用する

毎索(毎日新聞記事データベース)

1872年の創刊号から1999年までは紙面イメージで、1987年から現在まではテキストで記事を読覧できます。毎日新聞東京本社発行の朝夕刊をはじめ、大阪本社、西部本社、中部本社、北海道支社の記事、各都道府県の地方版の記事を収録しています(千葉版は1994年1月から)。雑誌『週刊エコノミスト』(1989年10月から)や、英字新聞『The Mainichi』(2008年6月から)の記事も検索できます。

聞蔵II(朝日新聞記事データベース)

1879年から1984年までは紙面イメージ、1985年から現在まではテキストで記事を読覧することができます。また、2005年11月以降は切り抜きイメージも併せて収録しています。東京本社・大阪本社発行版のほか、地方版の記事も収録しています(千葉版は1986年6月から)。雑誌『週刊朝日』(2000年4月から)のニュース記事と、雑誌『AERA』(1988年5月から)の記事も検索できます。

<こんなとき、役に立ちます！>

- ・自分が生まれた日の新聞を読みたい。
- ・読みたい記事があるが、日付やページ数が分からない。



ジャパンナレッジ Lib

約50種類の辞典類を横断的に検索できます。百科事典、新語辞典、国語辞典、語学辞典等の基本的な辞典や、人名・化学・世界文学等の専門辞典を収録するほか、『日本古典文学全集』や『東洋文庫』の全文検索も可能です。

<こんなとき、役に立ちます！>

- ・最近よく耳にする、新しく使われ始めた言葉の意味を調べたい。
- ・漢字の意味を調べたい。

bookplus

1926年から現在までに出版された本の情報(書誌事項・要旨・目次・著者の略歴等)を検索することができます。絶版本・非流通本も多数収録しています。毎日更新される「最近2週間の新着情報」も掲載しています。

<こんなとき、役に立ちます！>

- ・キーワードから本の情報を検索したい。
- ・自分がよく読む分野では最近どのような本が出版されたか知りたい。

最新看護索引 web

日本看護協会図書館で所蔵する、国内発行の看護関係の雑誌・紀要等に掲載された文献の中から、実践・研究・教育に関する文献情報を検索できます。また、『日本看護学会論文集(電子版)』の本文PDFを読覧することができます。

<こんなとき、役に立ちます！>

- ・看護の勉強をしているので、参考になる文献を探したい。

データベースの利用をご希望の方は、カウンターでお申し込みください。

新年度になりはや2か月。新しい生活、環境になった方も慣れてきたのではないのでしょうか。学校での新学期といえば、始業式があり、入学式があり……。そのような式に必ずあるのが「校歌斉唱」。「校歌」は、人生の中でその学校に在学している数年間しか歌わないのに、心のどこかに残っている懐かしいもの。そして、同じ学校で学んだ人々が、ずっと歌い継いできた、これからも歌い続けていくであろうもの。

さて、東部図書館近隣の高等学校の校歌を見ると、多くは新制高校としてのスタートに伴って昭和20年代から30年代に制定されています。この頃に、それまでの旧校歌から新校歌に変わった高校もあります。また、新しいところでは、県立銚子高校、佐原白楊高校、大網高校のように、県立高校再編等の関係で、平成に生まれた校歌もあります。

その中で、明治時代に作られ、100年以上たった現在も歌われている校歌が、銚子商業高校校歌と成東高校校歌です。銚子商業高校の校歌といえば、高校野球大会で甲子園にも流れた、短く力強い、あの特徴的な曲です。母校でなくても口ずさめる方もいるかもしれません。

ともに作曲したのは東儀鐵笛(とうぎ・てってき)。では、この東儀鐵笛はどのような人物なのでしょう。

本名は東儀季治(すえはる)。明治2年(1869年)京都の雅楽の楽人の家に生まれ、父に箏篳(ひちりき)を習い、宮内省の宮廷楽人として勤仕しました。28歳で退官した後は、新劇俳優として舞台に立ち、また、オペラや唱歌の作曲、音楽についての論述の執筆など幅広く活躍しました。伝統音楽と西洋音楽の双方のみならず当時の文化に深く関わったのです。校歌作曲では、前述の2校のほか、早稲田大学校歌「都の西北」も鐵笛によるものです。

県立図書館は、下記の関連資料を所蔵しています。

- * 『千葉県下の各高等学校校歌集』(奥村正子編集発行)〔東 C7676/1〕
県内高等学校の校歌の歌詞と楽譜が収録されています。「千葉県立成東高等学校校歌」歌詞編 p49、楽譜編 104 「千葉県立銚子商業高等学校校歌」歌詞編 p46、楽譜編 98
- * 『雅楽の〈近代〉と〈現代〉』(寺内直子著 岩波書店)〔東 7682/23〕
伝統を持つ雅楽が洋楽との交流などを通していかに芸術として生成してきたか、東儀鐵笛の功績も含めて書かれています。
- * 『音楽教育史文献・資料叢書 8 小学唱歌教授法』(河口道朗監修 大空社)〔西 7607/10/8〕
明治23年刊行の復刻。アメリカ人 G・B・ルーミスの音楽教授法に関する著書を東儀季治(鐵笛)が邦訳したもので、教師と生徒の問答を想定しており、ユニークです。例題の曲の日本語歌詞は大和田建樹(成東高校校歌作詞者)が付けています。
- * 『少年世界』(名著普及会)〔中 J050/3/1-1~32〕
明治28年から昭和9年にかけて博文館から発行された児童雑誌の合本復刻。掲載された唱歌の作曲が東儀鐵笛。

〔 〕は所蔵館と請求記号です。

- 県立図書館の資料は、市町村図書館などを通じて利用することもできます。お近くの図書館、公民館図書室等の読書施設にご相談ください。
- 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言

県立図書館は、「千葉県立図書館基本構想」(平成30年1月)の役割と機能を踏まえ、3館で密接に連携を図りながら、県内図書館の中核としての役割、子どもの読書活動の推進、課題解決支援図書館、千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承、知の創造と循環を生み出す公共の場をめざして事業を展開します。

編集・発行:千葉県立東部図書館

〒289-2521

千葉県旭市ハの349

TEL 0479-62-7070

FAX 0479-62-7466

URL: <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>